

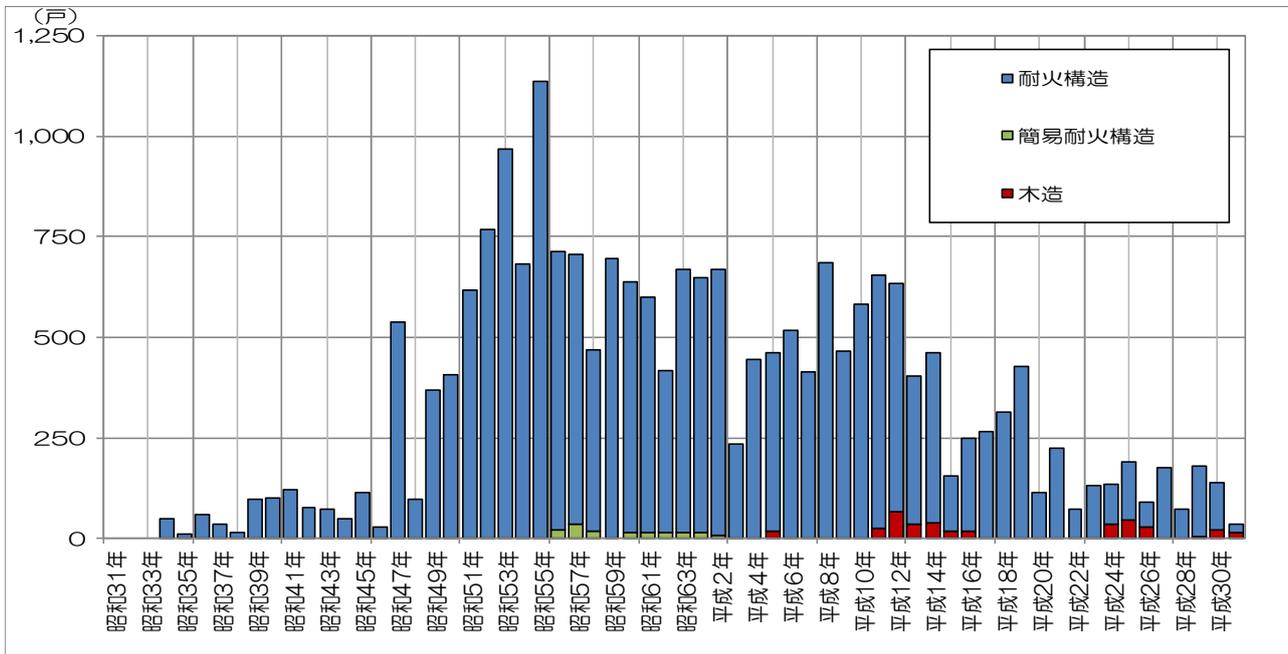
道営住宅整備活用計画（道営住宅長寿命化計画）

1 計画の目的と位置づけ

「北海道住生活基本計画」、「道営住宅整備活用方針」に基づき、道営住宅の管理戸数の適正化と長期的な視点に立った維持管理の考え方を定め、ストックの経過年数などに応じた適切な活用を図ることを目的とする。



2 道営住宅のストックの状況（令和元年度末時点）



年代 (年度)	構造種別戸数							計	
	木造	簡易耐火構造		耐火構造					
		簡易耐火 平屋建	簡易耐火 2階建	低層 耐火	中層 耐火	高層 耐火			
昭和31～35				64			64	64 (0.3%)	
昭和36～40				306			306	306 (1.4%)	
昭和41～45				435			435	435 (2.0%)	
昭和46～50				1,444			1,041	403	1,444 (6.5%)
昭和51～55				4,177			3,123	1,054	4,177 (18.9%)
昭和56～60		94	12	82	3,131		2,939	192	3,225 (14.6%)
昭和61～平成2		72		72	2,941	8	2,481	452	3,013 (13.6%)
平成3～7	18				2,056	1	1,493	562	2,074 (9.4%)
平成8～12	90				2,946	12	2,503	431	3,036 (13.8%)
平成13～17	110				1,733	305	1,083	345	1,843 (8.3%)
平成18～22					1,240	85	756	399	1,240 (5.6%)
平成23～27					686	68	578	40	795 (3.6%)
平成28～30					366		211	155	393 (1.8%)
令和元	14				20			20	34 (0.2%)
計	368 (1.7%)	166 (0.8%)	12 (0.1%)	154 (0.7%)	21,545 (97.6%)	479 (2.2%)	17,013 (77.1%)	4,053 (18.4%)	22,079 (100.0%)

3 整備及び活用の考え
 (1) 整備活用手法の選定

